

平成31年度 敦賀市立咸新小学校 スクールプラン

保護者の願い
地域の願い
児童の実態
教職員の願い

学校教育目標

進んで学び、心豊かにたくましく生きる子の育成
～いのち・夢・チャレンジ・笑顔・思いやり～

敦賀市「知・徳・体」充実プラン
知：勉強して考える力
徳：内面を豊かにする力
体：たくましく生きる力

めざす児童像

㊦体のじょうぶな 明るい子 ㊧すすんで学び 考える子 ㊨しんぼう強く がんばる子 ㊩みんなのために はたらく子

重点目標と具体的取り組み

【確かな学力】

- 学びの基礎力、主体的に学ぶ力の向上
- 読書活動の推進

- ①「わかる・できる」が実感できる授業づくり
 - ・発問の工夫や振り返りを意識した授業実践
 - ・条件に合った「書く」指導時間の設定
- ②基礎基本の定着
 - ・支援タイム等を活用した基礎基本の指導
 - ・漢字、計算、理科、社会コンテストの実施
 - ・授業に活かす家庭学習の課題提示
- ③小中一貫教育の推進
 - ・角鹿中校区4校での連携推進、共通実践と敦賀市小中一貫カリキュラムの実践による円滑な小中接続と学力の充実
- ④読書活動の量・質の向上
 - ・チャレンジ読書・家庭読書の推進
- ⑤特別支援教育の充実
 - ・個別の支援の充実

【豊かな人間性】

- 自主・自立・自律の精神の育成
- 相手を思いやる個や集団の育成

- ①互いに安心して生活できる集団づくり
 - ・一人一人が主人公となる活動の工夫
 - ・課題を解決する話し合い活動の指導
 - ・心を磨く清掃活動の充実
- ②あいさつ運動の推進
 - ・児童会による朝のあいさつ運動の実施
 - ・地域、PTA、角鹿中学校と連携したあいさつ運動の実施
- ③道徳の授業や人権教育の計画的な実施
 - ・考え、議論する「特別な教科道徳」の実施
 - ・人権教育、人権週間の計画的な実施
- ④いじめ・不登校の未然防止
 - ・福井県教育総合研究所と連携した「ポジティブ教育」の実践による魅力ある学校づくりを推進

【健康でたくましい体】

- よりよい生活習慣の確立
- 健康で安全な生活意識の向上

- ①家庭・地域と連携した基本的な生活習慣の育成
 - ・「生活振り返りチェック」の定期的な実施
 - ・各たより等を活用した保護者への啓発活動
 - ・角鹿中学校校区で連携したネットや SNS 利用のルールづくり
- ②安全意識の高揚
 - ・交通安全教室、避難訓練の実施(各年3回)
 - ・危険を回避する行動についての指導強化
- ③耐力を育てる体育活動の充実
 - ・一人一人が目標を持った体育的行事、業間活動(大縄とび、マラソン等)の実施
- ④命の大切さを意識した健康教育の推進

【家庭・地域との連携】

- ふるさと体験活動の充実
- 開かれた学校づくりの推進

- ①「ふるさと・体験学習」の推進
 - ・自然豊かな中池見から学ぶ環境学習の実施
 - ・伝統文化の継承と地域活動への参加
 - ・飼育や栽培活動を通じた地域交流の実施
- ②学校公開の積極的な実施
 - ・オープンスクール、学校行事等の公開
 - ・各たより、HPによる積極的な情報発信
 - ・学校評議委員会、見守り隊、PTA 等との連携と地域人材の発掘と活用
- ③角鹿中学校校区小中一貫教育の推進
 - ・小小合同授業の実施(年4回)
 - ・小中連携授業、交流行事の実施(年5回)
 - ・角鹿小中学校開設に向けた取組

〈数値目標〉

- ・授業がわかると答える児童 90%以上
- ・学年に応じた一定時間、家庭学習に取り組んだ児童 90%以上
- ・チャレンジ読書を読み切る児童 90%以上

〈数値目標〉

- ・「学校が楽しい」と答える児童 90%以上
- ・友達と仲良く過ごしている児童 90%以上
- ・進んであいさつができる児童 90%以上
- ・自分の役割を果たす児童 90%以上

〈数値目標〉

- ・早寝、早起きができた児童 80%以上
- ・運動に親しむことができた児童 90%以上
- ・スマイルールを守っている児童 90%以上
- ・自転車に乗るときヘルメットを着用している児童 95%以上

〈数値目標〉

- ・ふるさと自慢が発表できる児童 85%以上
- ・学校からの情報発信に満足している保護者 90%以上
- ・学校は保小、小小、小中連携に努めていると答える保護者 90%以上

〈業務改善のための取組〉 ①職員朝礼の廃止→週2回の終礼 ②教師のプレゼン力向上による会議の効率化 ③迅速な情報伝達の工夫と事務処理の効率化